

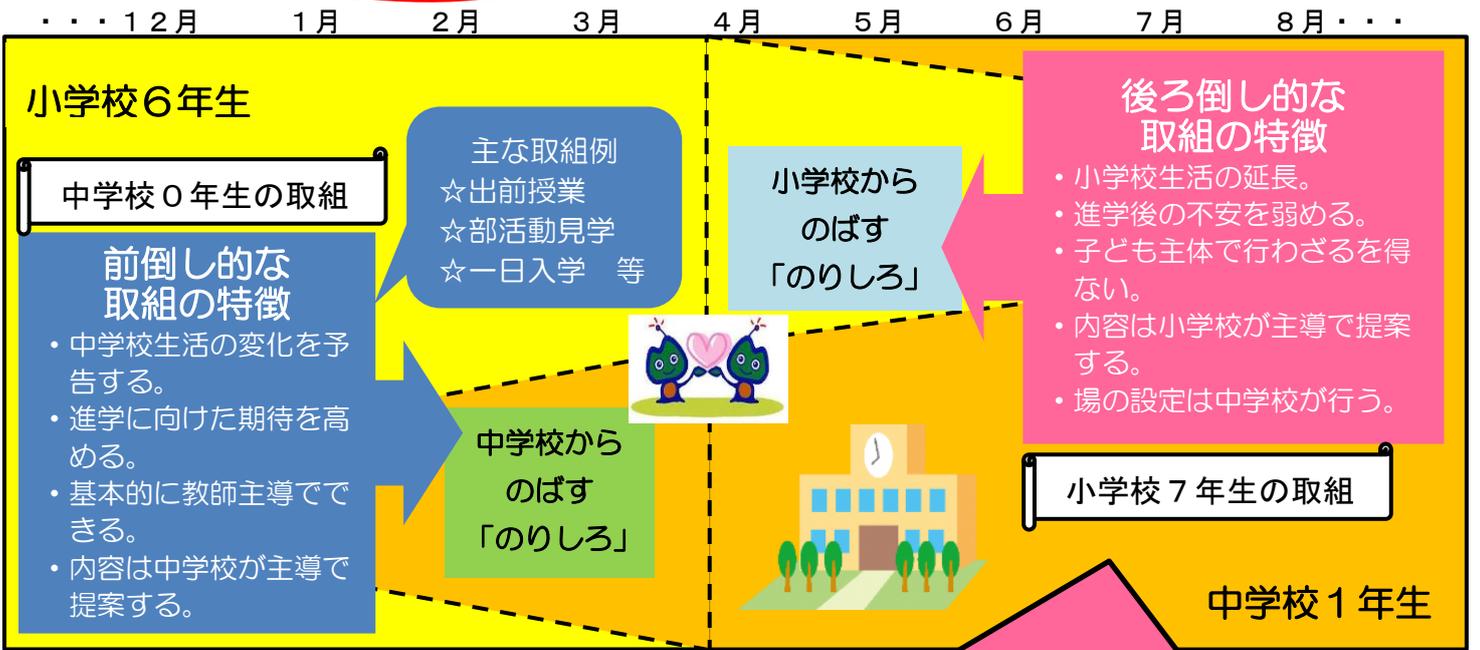
魅力だより

- ◆最上教育事務所「魅力ある学校づくり調査研究事業」通信第2号
- ◆令和2年6月2日（火）
- ◆最上教育事務所 指導課

「中学校区での連携」を進化させる

最上管内では以前から小中連携が進み、校内研究のテーマを統一したり、授業を相互に参観したりする等、「小中を9年間の連続性で考える」学校間連携が行われています。しかし、全国と同様に中学校1年生時における不登校の新規数の出現割合が他学年に比べて高い状況が見られます。そこで、当所は今年度の重点として、「小中連携による中学校1年生時における新規数抑制」を掲げました。今回は、6・7月に取り組んでいただきたい取組を提案します。

方策：「のりしろ」的発想 “連携” をもう一手加えた新たなステージへ！



主な取組例

小学校時代に培った「絆」を活かす！

- ・各小学校で異なっていた家庭学習のルールや目標等を持ち寄り、生徒たちに話し合わせながら中学校入学後のルールをつくっていく。
- ・各小学校で年間を通じて行ってきた活動（帰りの会でのミニレクリエーション等）を中学校入学後も継続して行う。
- ・清掃班を出身小学校ごとに構成して取り組む。
- ・出身小学校ごとに集まり、6年生時の担任や児童等にメッセージ（近況報告や激励等の手紙）を書いて送る。

CHECK

小6のゴールは7月、中1のスタートは1月